

# 上田女子 短期大学通信

— vol.077 —

2015.3.14

→ Ueda Women's  
Junior College ✿

## CONTENTS

- Special edition ▶ ごあいさつ・授業紹介 …… 2-3
- Campus Life ▶ 受賞・地域への発信 …… 4-5
- Campus Life ▶ 学海祭・サークル紹介 …… 6-7
- Information ▶ 進路サポート室情報 …… 8

表紙撮影：幼児教育学科2年 平野奈津子



# 短大生活で身に付けるものとは？

## 生涯を通じて主体的に学ぶ力を

学長 小池 明

一年が終わります。4月からは、卒業、進級、或いは再挑戦・新規蒔き直しなど、様々に道は分かれますが、今こそ一年を振り返り、達成したこと、やり残したことに思いを馳せて下さい。成就したことは更に磨きをかけるべきか、やり残したことは再度トライするのか、或いはそれは試みたことに意義があったので最早捨て去っていいと考えるか—いずれにせよ、それを決めるあなた自身は一年分の経験と思慮を重ねたのですからより熟した判断ができる筈です。

処で、皆さんが短大で得る／得たものの最大の価値は何でしょうか。例えば、学問の視点からは専門知識や技能を積み増し出来たなら大きな成果に違いない。併し敢えて言います。それはあなた方一人ひとりが一生のうちに学び、身につけるべきことのほんの一部にしか過ぎない。人は様々なことを先人始め他人から受け継いで成長していくものとは言え、受け継げるものは一部でしかない。あなた方自身が両親、友人や教員と同じ生き方をそっくりそのまま出来る、或いはするわけではない。但し、にも拘わらず、又はそれゆえにこそ短大で共に学んだことの意義は大きいし、短大で学ばなかった場合との違いは小さくない(筈である)。これは人生を2度生きない限り証明は難しく、皆さんそれぞれが卒業後の長い人生で実感していくほかありません。蓋し短大での学問、勉強、更に学生時代の最大の価値は、受け身の勉強、教わる学問を終了した後に、ひとりになっても一度は主体的に一学べる技を習った、身に付けたということではないか。それだけに人生を続けているうちにそのことが実感でき、将来のあなたが、短大で学ぶことを決断した今のあなたに感謝するように生きていってもらえることを切望して已みません。

## アフリカ・サファリ

幼児教育学科学科長 笹井 弘

1年前ケニヤを旅行しました。400万年前猿人が初めて二足歩行を始めたサバンナを見たかったためです。野生動物だけの世界がどういふものかを見たかったのです。

サバンナは所どころ木やブッシュがある草原です。何時間車で走っても終わりはなく永遠に続くように思われました。ガイド兼ドライバーは、数百メートル先のブッシュに潜む動物でさえ誰よりも早く見つけて、私たちをそこに連れて行ってくれました。

サファリの3日目に、目前に現れた大きな雄ライオンに思わず息のみました。張り裂けんばかりの胸と腿の筋肉、引き締まった足と尻、荒々しく乱れたたてがみ、サファリパークのそれとは全く別物で、私達を完全に無視し遠くを見つめている姿を見た時、百獣の王として扱われる意味が理解できました。むき出しの自然と車の中に守られた文明の圧倒的違いを感じた瞬間でした。キリマンジェロの氷河は温暖化で後退し、サバンナには都市化の波が押し寄せていました。

## 大学改革の 不易流行

総合文化学科学科長 大橋敦夫

今から半世紀ほど前の昭和44(1969)年、大学紛争なるものが起きました。大学入学者が増加し、象牙の塔から民衆の大学へ、社会からの期待値の転換がおこりました。当時において、大学改革を具体的に論じた評論の一つに次のような具体策が掲げられています。

- ① 大学教員は教育者としての使命に徹すること
- ② 一般教育の内容および方法を抜本的に改革すること
- ③ 専門教育の内容および方法を抜本的に改革すること
- ④ 教育方法の機械化をはかること
- ⑤ 入試制度を改革すること

(和光大学助教授・生越忠氏「技術革新と大学」『energy』6-1 1969.1)

提言された年月を見なければ、今日にそのまま通用する内容です。これらこそ、大学の教育改革の絶えざる命題とみるべきかと思われまふ。

# 授業紹介

## ■テレビ会議システムで討論—信州大学との連携授業—

幼児教育  
学科



幼児教育学科と信州大学教育学部の連携授業が今年度も行われ、保育者を目指す学生たちに「小学校で求められていることがわかる」と好評です。連携授業は、両校がそれぞれ保育者と小学校教員の養成課程を持つことから、幼児期から小学校までの子どもの成長を見渡した保育者・小学校教員の育成を目的に、平成21年に文部科学省の補助金採択を受けて始まりました。

連携授業では、本学と長野市の信州大学教育学部をインターネットでつなぎ、テレビ会議システムを使って互いの教室の様子を見ながら議論や発表を行っています。今年度は本学で約50人、信州大学で約30人が受講し、テレビ会議システムを使った授業は計9回行われました。

11月下旬に行われた授業では、両校の学生たちが小学校4年生の担任になったつもりでクラス内で起きたトラブルの解決策を話し合い、発表を通じて考えを深めました。

## ■3つの免許・資格\*を取得した3人の先輩 \*中学校教諭二種(国語) 図書館司書 学校図書館司書教諭

～学校図書館司書教諭までの同時取得は県内短大唯一～

総合文化学科には教職課程と司書課程が設置されており、2つを合わせて履修すると、学校図書館司書教諭にチャレンジできます。特に、学校図書館司書教諭まで同時に取得できる短大は、県内では本学だけ。例年、教職課程履修者は入学生の1割前後ですが、そのほぼ全員が3つの免許・資格の取得を目指して努力しています。努力が実り、現場で活躍する人も生まれています。3つすべてを取得した2年生3人に授業を紹介してもらいました。

総合文化  
学科



01

### 学校図書館司書教諭 「児童と図書館」

上田東高校出身  
唐木田 愛さん

高校時代は毎日学校の図書館に通っていました。司書の先生が顔を覚えてくださって、利用しやすい雰囲気だったことから学校図書館司書教諭に興味を持ちました。「児童と図書館」の授業では、附属幼稚園で絵本の読み聞かせをします。1年生の授業で絵本を100冊読んだ経験が本選びに役立ちました。卒業後は金融機関に就職しますが、司書の勉強の中で身に付けた貸出や返却時の窓口対応、言葉遣いなどを活かして働きたいです。



02

### 図書館司書 「情報サービス演習I」

新潟県立長岡工業高校出身  
安達 百花さん

読書家の母に小さい頃から図書館に連れて行かれたことが司書との出会いでした。「情報サービス演習I」では、利用者の依頼を受けて参考文献を紹介する練習をします。私の課題は「クレオパトラ」でしたが、調べると同名の人物が何人もいるとわかり、思い込みで行動しないことが大切だと感じました。卒業後は小売業で働きますが、司書課程で学んだ利用者の立場に立つ考え方が、お客さんの気持ちを考えるのに役立つと思います。



03

### 中学校教諭 「教育実習」

木曾青峰高校出身  
亀子 遥那さん

中学時代の恩師は生徒との間に壁がなく、悩みも全て話せる存在でした。そんな恩師と共に働くのが夢です。「教育実習」では1カ月間、出身中学の教壇に立ちました。緊張しましたが、1年生から模擬授業をしてきたおかげで安心して実習に臨めました。模擬授業では指導案を作るのが難しく、何度も作り直しました。そして授業後に先生や同級生の意見を聞くことで課題を改善できました。卒業後も勉強を続け、夢を実現したいと思っています。

## 第1回 長野県 私学振興大会

### 2件5団体が理事長表彰受賞

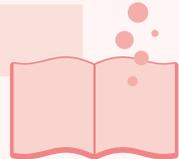
長野県の私立学校が教育の充実などをテーマに話し合う、第1回長野県私学振興大会が12月15日に長野市で開かれました。大会の中で、学生の優れた活動に対する理事長表彰も行われ、本学からは2件5団体が選ばれました。

#### 図書館の書架整理・読み聞かせ活動



#### 図書館サークルFLC

総合文化学科2年 新潟県立堀之内高校出身  
須田 麻衣子さん



先輩の代から続けてきた絵本の読み聞かせや、地元図書館への協力が評価されてうれしいです。FLCでは大学図書館の書架整理のほか、上田地域の図書館で月に1度、絵本の読み聞かせをしています。ほかにも、地元図書館のイベントで、書庫探検や仕掛け絵本づくりなどを企画してきました。昨年は新しい試みとして、図書館の利用者から集めた200冊の古本を学園祭で希望者に配布するなど、活動の幅を広げています。

#### 子育てイベントや福祉施設でのボランティア活動

#### 『わくわくファミリーフェスタ』 でのコンサート (平澤ゼミ)

幼児教育学科2年 松本第一高校出身  
加藤 彩夏さん



ゼミ生全員の協力があるのが受賞だと思います。私たちは、上田市の子育て支援イベント「わくわくファミリーフェスタ」で歌と踊りのパフォーマンスを披露しました。親子で楽しめる振り付けを考え、タンバリンやトライアングルなどの楽器も取り入れました。子どもたちが楽しんで踊ってくれたことがうれしかったです。大勢の子どもの前で発表してみても、声の大きさなど勉強になりました。

#### 福祉施設での ブライダルショー (MIP、演劇部、茶道部)

総合文化学科2年 岡山学芸館高校出身  
樋口 萌さん(MIP代表)



皆で作上げた活動が評価されてうれしいです。MIPでは毎年、敬老園と千曲荘病院でブライダルファッションショーを行っています。千曲荘病院では干支をテーマにストーリー仕立てのショーをしました。西はプリンセス型のドレスで頭に羽飾りをつけたり、辰はターコイズのカラードレスにしりと工夫しました。受賞をきっかけに上田女子短大に興味を持つ人が増えてくれればと思います。



地域への  
発信

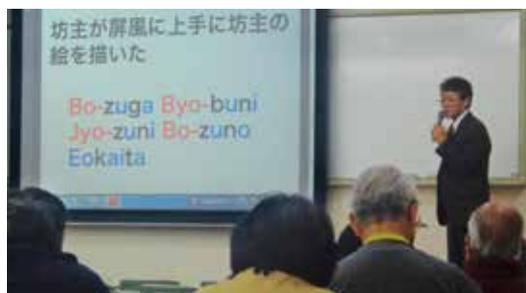
## リバティカレッジ

「本のちから～東日本大震災からの復興を支える～」



ちくまプリマー新書『走れ!移動図書館:本でよりそう復興支援』の著者・鎌倉幸子さん(シャンティ国際ボランティア会広報課長)のお話を伺いました。「大震災の記憶風化が懸念される昨今、図書館活動を中心とした復興支援活動について語る機会の提供に感謝します!」という熱いメッセージをいただきました。(11月29日、上田情報ライブラリー)

## 4大学リレー講座2014未来学科 「音楽という生き方」



上田市内4大学によるリレー講座が今年も開かれ、トップバッターとして幼児教育学科の町田育弥教授が「音楽という生き方」をテーマに講義しました。音楽を音から切り離し、「一定の時間内で展開される命のありよう」と定義。無音の音楽を体験するワークショップを交えつつ、リラックスした雰囲気の中で音楽の本質を問い直しました。(11月8日)

## 芸術の森～北野講堂シリーズ2014 「柳川守ピアノリサイタル」



フランスで研鑽を積まれ、帰国後は演奏家として、音楽大学で教鞭を取られてきた柳川守氏をお迎えして、リサイタルが開かれました。ベートーヴェン「ワルトシュタイン」やリスト「エステ荘の噴水」等が演奏され、300名を超えるお客様を魅了しました。(11月15日)

## 新春コンサート♪



新春コンサートも今年で25回を迎えました。幼児教育学科1年120名による合唱から始まり、音楽コース生と卒業生が独唱や重唱、ピアノソロや連弾、合唱を披露しました。最後は会場の皆さまと「信濃の国」の大合唱で締めくくりました。昨年は災害の多い長野県でしたが、今年は皆さまが笑顔で過ごせますようお願いしてみません。(1月18日)

## 第37回児童文化研究大会



第37回児童文化研究大会では、安曇野の森のようちえん「くじら雲」代表兼保育者で、本学の卒業生でもある依田敬子先生をお招きし、自然の中で子どもの主体性を育む保育についてお話を伺いました。県が推進する「信州型自然保育事業」についても学べた有意義な大会となりました。(1月27日)

# Campus Life

## 学海祭

### 白馬村への寄付

本学の学海祭は、毎年売上の一部を寄付という形で社会へ還元しています。今年度は白馬村の震災に対し寄付を行いました。本学にも白馬村出身の学生が在籍しており、少しでも役立てていただければ幸いです。スタッフ一同、一日も早い復興を願います。

「パズル〜416人の笑顔のピースを埋め込もう〜」をテーマに、第41回学海祭が10月25、26日に開催されました。今年は初日の夜に恒例のミスコンやクラス対抗ダンスのほか、肝試しも行われ、例年以上に盛り上がった2日間でした。

学海祭実行委員長 幼児教育学科2年 上田染谷丘高校出身 **羽田 くる美さん**

「人が集まる学園祭」を目標に、夜のイベントも楽しんでもらおうと内緒で肝試しを準備しました。先生にお化け役をお願いしたり、順番を待つ間に怖いビデオを上映し、テンションを上げるなどといった工夫も好評でした。

準備が遅れがちになってしまったのは反省点ですが、係の枠を越えて協力し合うことで乗り切れたことから、計画性の大切さを学びました。私はどちらかというと相手に指示を出すことは苦手でしたが、この経験から仲間の気持ちに添い、立場になって考えることができるようになりました。春からは自身の成長を幼稚園現場で生かしていきたいです。



## あそびプロジェクト

子どもとの関わり方を学ぶ幼児教育学科の授業の一環として、遊びを通じて附属幼稚園の園児と触れ合いました。ゼミごとに用意した魚釣りやボール投げなどの遊びのブースに子どもたちも大喜びの楽しいひとときでした。

幼児教育学科1年 上越高校出身 **池田 菜由さん**

幼児教育学科1年 小諸高校出身 **内川 結貴子さん**



私たちは「しりとりパズル」をしました。動物などの絵を描いたダンボールのパネル9枚をしりとりになるように並べて遊びます。パネルは50センチ四方で、ダンボールで作りました。1人で持てない大きにしたのは、チームになった3名で協力して友人関係を養ってほしかったからです。1ヶ月前から考えて、お昼休みや帰宅後にも準備しました。実際に作ってみると、ダンボールの角を丸めるといった安全への配慮が大切だと気がつきました。実習では子どもをよく観察して、悩みや要求を汲み取れるようになりたいです。



卒業生

上田女子短期大学附属幼稚園教諭 **岡田 はる菜さん**(平成25年度卒)

学生時代は同じ夢を目指す仲間と切磋琢磨して目標意識を高めることができました。今は副担任として、子どもの能力を引き出す遊びを考えています。子どもの月ごとの成長を実感できるとうれしくなります。附属は自然が多いためか、子どもたちの感受性の強さ、発想力の豊かさに驚かされることが多いです。実習生は記録に夢中になってしまいがちですが、学生のうちは失敗してもいいので、子どもの声によく耳を傾けて、一緒に遊んでほしいです。

## 東京研修

総合文化学科の140名が1泊2日の日程で東京を訪問しました。初日は東京ディズニーリゾートでおもてなしを学んだほか、2日目の自由行動では班ごとに図書館や博物館など、各自の興味に従って東京各地を見学しました。



総合文化学科1年 中野立志館高校出身 **武田 美也華さん**

初日のディズニーシーは雨風が強くて寒かったのですが、そんな状況でも笑顔を決やさないスタッフの姿勢が印象的でした。自由行動では国立国会図書館を見学しました。自分を含めて班のメンバー3名が全員司書課程を取っており、授業にもよく取り上げられていたからです。実際に見た図書館の大きさには驚きました。また、閉架式の図書館というものが理解できました。ほかに歌舞伎座も訪れ、建物の迫力に圧倒されました。歴史的なものや、自分が学んでいることに関係ある場所を見に行くプランがおすすめです。



卒業生

JTB中部 上田支店 **池内 千尋さん**(平成19年度卒)

昨年初めて東京研修に同行しました。普段は団体旅行の営業事務をしています。大人数の予約が中心なので、人気施設は入場券の発売日を把握しておくようにしています。JTBへの入社は1年生のインターンシップがきっかけです。もともと旅行の計画を立てるのが好きでしたが、接客が向いていると感じました。就職活動を始めた時、お世話になった社員の方に電話して求人を紹介されました。研修ではプロの接客を見て、よいところを取り入れてほしいです。

## 総合文化 学科

卒業研究発表会が1月26日、森の教室で開かれました。5つのゼミの代表者5人の発表に対して、会場との質疑応答や指導教員からの講評が行われました。ほかに5人の研究が卒業研究集としてまとめられました。

### 「コーヒー」と「笑い」の関係性 ～癒し～ 総合文化学科2年 丸子修学館高校出身 清水 あゆみさん

大好きなお笑い＆コーヒーに共通する「癒し」効果を日常生活に活用する方法を研究しました。研究のきっかけは、1年生のゼミでお笑いについて発表し、笑いの健康効果に気がついたことです。同じ頃、コーヒー店でアルバイトをはじめ、香りの持つリラックス効果にも興味を持ちました。将来は地元の上田で住民同士が交流できるカフェを開き、笑顔とコーヒーの香りでお客さんを元気にしたいと思います。卒業後はコーヒー店に勤めて経験を積みながら、今回調べられなかったコーヒー豆についても調べたいです。

## 卒業研究 発表会



## 幼児教育 学科

12月17日、9つのゼミに所属する2年生全員が発表を行いました。各ゼミの1、2年生全員がスーツ姿で参加。1年生は自らの卒業研究に役立てようと、2年生は専門職としての知識を吸収しようと真剣に発表を聞いていました。

### 食物アレルギーの現状と支援 ー現状を理解した上での保護者と子どもの心への支援ー

幼児教育学科2年 飯山高校出身 小林 麻奈美さん

私自身、2歳の時に卵アレルギーがわかり、小中学校の給食では別メニューを食べていました。中学生になり、それを恥ずかしいと感じた経験から、食物アレルギーを持つ子どもと保護者の心の支援について考えました。アレルギーのある子は、症状への恐怖心などで食事が楽しくなくなることがあります。原因になる食材を使わない調理実習で食への興味を引き出せるのではないのでしょうか。また、家庭内でも祖父母に理解がない場合、保育者からの指導で両親の負担を軽くすることができるのではないかと思います。



12月17日、森の教室で学生のためのクリスマスライブが初めて開かれました。幼児教育学科の町田育弥教授が企画し、友人で元神奈川フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターのヴァイオリニスト七澤清貴さんと共演しました。幼児教育学科1年の田中 歩歩さん(上田東高校出身)もフルードで参加。最後には、町田教授が作曲したクリスマスソング2曲を学生約30名が合唱して楽しみました。また、今年は正面玄関と学生ホールに高さ約3メートルのもみの木のツリーが飾られ、クリスマス気分を盛り上げました。



## 海外研修

2月16日～19日、幼児教育、総合文化学科の15名がグアムで異文化交流を体験しました。

幼児教育学科1年 長野日大高校出身 勝山 真子さん

現地の保育園を訪問し、子どもたちに日本の手あそびを披露したり、紙飛行機などの折り紙をプレゼントして交流しました。ハイアット・リージェンシー・グアムではビーチフロントのクリスタルチャペルを見学し、感動しました。また、渡航前に6回ある研修でグアム史を学んでいたおかげで、歴史地区散策も楽しめました。



## 部・サークル 紹介



### バドミントン

幼児教育学科2年 飯山高校出身 小林 みのりさん

週2回、放課後に体育館で活動しています。秋には県内短大の交流試合があります。ラケットは備品があるので道具がなくても入部でき、初心者でも楽しく活動しています。バドミントンはコートが狭くてもすぐ身体を動かすので、短時間でいい汗がかけますよ。



### K-Style

幼児教育学科2年 長野南高校出身 小柳 璃衣さん

韓国のアーティストが好きな人が集まって、音楽DVDを見たり、韓国料理を作ったりしています。昨年4月にできたばかりのサークルで、週1回、約10名で活動しています。互いに韓国語を教え合い、知識や興味の幅も広がりました。料理が好きな人も歓迎します。



### E.S.S

総合文化学科1年 中野西高校出身 山口 藍さん

新しいサークルです。週1回集まって、英語に関する話題を楽しんでいます。先日はイギリスのデパートのCMを見てヒアリングの練習をしたり、外国ならではの感動的なメッセージについて話し合ったりしました。今後は日本文化を英語で伝える練習もしたいです。英語が苦手な人でも楽しめます。

## 輝く女性を応援します！

この地域の景気は、あまり期待できるほどの回復はしていません。この現状を受けて、1年生を対象とした公務員講座や各種資格支援の制度を大いに活用し、自らの希望する進路に向かって努力を重ねている学生の姿が多く見られま

す。短大の2年間という短い学生生活の中で、将来の目標を定め一歩ずつ進む学生が、卒業を迎える時に自信に満ち溢れた輝く女性として社会に出て行かれるよう、進路サポート委員を始め、短大を挙げて応援しています。

(進路サポート委員長 島崎あかね)

## ウィンター セミナー



### 就職活動スタート！

3月の就職活動解禁を目前に控えた1月26日、就活を知る講座「ウィンターセミナー」が開催されました。セミナーでは、内定者の2年生3人が就職活動の体験談を語ったほか、企業の人事担当者を交えたグループワークで社会人との対話を体験しました。

総合文化学科1年 上田東高校出身 関 瑛理香さん

就職活動が始まる実感がまだありませんでしたが、先輩の話を聞いて、解禁前から企業研究などを進めようという自覚が芽生えました。また、企業の人事担当者として話して、敬語にも慣れたいと思いました。これまで事務職を希望していましたが、ほかの分野も幅広く見ながら、女性でも長く働ける職場を探したいです。



## 就職活動を 終えて

保育士に  
内定

幼児教育学科2年  
市立長野高校出身  
町田 七海さん



4月から私立保育園で働きます。もともと子どもが好きでしたが、中学校の職業体験で幼稚園に行ったことがきっかけで保育者を目指すようになりました。上田女子短大を選んだのは、あまり得意ではなかったピアノを基礎から学べたからです。就職先は何か所か見学して、子どもたちの楽しそうな雰囲気が入って決めました。採用試験に向けては、ピアノと絵本の読み聞かせを練習しました。面接が不安でしたが、進路サポート室で模擬面接をするうちに自分の意見がまとまり、気持ちが楽になりました。



総合職に  
内定  
総合文化学科2年  
野沢南高校出身  
白田 真子さん

総合職の団体職員に内定しています。入学当初は医療事務を志望していましたが、求人が出るのが秋以降と遅く、進路サポート室で「視野を広げればチャンスはたくさんある」とアドバイスを受けたことで医療以外の事務職にも挑戦しました。合同企業説明会で興味を持った企業は訪問して話を聞き、志望理由を練りました。はじめの面接は緊張してうまく話せませんでしたが、慣れてきて思いを伝えられた5社目で内定をいただきました。面接は慣れも大切なので、受けるかどうか悩む企業があるなら受けたほうがいいと思います。

ご活躍を期待します！



## 資格報奨金授与者

### ■日本商工会議所主催 日商簿記検定3級

総合文化学科2年 (望月高校出身) **小林 知佳さん** 10,000円

総合文化学科1年 (小諸商業高校出身) **櫻井 春風さん** 10,000円

### ■実技技能検定協会主催 秘書技能検定2級

総合文化学科1年 (豊科高校出身) **武岡紅瑠美さん** 10,000円

総合文化学科1年 (甲府東高校出身) **古屋 優菜さん** 10,000円

### ■MOSマスター

総合文化学科2年 (市川高校出身) **澤登 祐季さん** 30,000円

### ■MOSエクセル&ワード2010

幼児教育学科1年 (上田東高校出身) **氏原茉莉奈さん** 10,000円

総合文化学科2年 (小諸高校出身) **大久保 茜さん** 10,000円

総合文化学科2年 (堀之内高校出身) **須田麻衣子さん** 10,000円

### ■日本漢字能力検定協会主催 日本漢字能力検定2級

総合文化学科2年 (上田東高校出身) **大井 優花さん** 10,000円

総合文化学科2年 (上田東高校出身) **唐木田 愛さん** 10,000円

## 編集後記

2年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。2年前、少し緊張した面持ちで入学式に臨んでいた姿が懐かしく思い出されます。あの頃は、まだ高校生の延長という雰囲気でしたが、この2年間で素敵な大人の女性になりました。卒業後はそれぞれの道を歩んでいくわけですが、短大生活での経験を自信にして活躍してくれることを期待しています。

(増田)



学校法人 北野学園

# 上田女子短期大学

幼児教育学科 / 総合文化学科

〒386-1214 長野県上田市下之郷乙620 TEL0268-38-2352代 FAX0268-38-7315 E-mail adoffice@uedawjc.ac.jp

入試事務室 0120-375901 <http://www.uedawjc.ac.jp>

